

2026年6月30日

## 日本成長戦略会議

日本電鍍工業株式会社

伊藤麻美

危機管理投資・成長投資の成果をよりよいものにするために、民間投資がキーになってきます。

特に、強い中小企業の存在が不可欠です。

中小企業の投資意欲が増すことにより、経済効果に勢いがついてきます。

一方、中小企業のアセットは無限ではありません。

各企業が社内のバランスを見ながら、投資を行うケースが大半だと思います。

本来、企業にとって、最大のアセットは人材のはずです。

しかし残念なことに、人の質がどんどん下がっている傾向があります。

コロナ禍において、人と触れ合う機会が減ったからだけではないと思います。

コミュニケーションがとれない、人との関りを最低限にしたい、仕事とプライベートを完全に分離したいと、労働者側が様々な権利を主張するがあまり、労働生産性が低下している現場の声をよく耳にします。

こうした行為を改善するために注意をすれば、パワハラと言われ、教育しよう  
とすれば、自分たちには断る権利があると、会社全体の雰囲気は低下させてい  
きます。

チャレンジしたい人材に対しても悪影響をもたらします。

こんな状況に置かれた企業が大きな投資に踏み切ることができるのでしょ  
うか？

今回の日本成長戦略には人材の育成強化は示されています。

とっても素晴らしいことだと思います。

更に、残業時間の規制をフレキシブルにし、それぞれが望む働き方ができる社  
会にしていくことでイノベーションが生まれやすくなると思います。

しかし、それだけで満足な日本の成長に繋がるのでしょうか？

心の通った行動がとれる人材がなくては、本当の成長にはなりません。

自分よがりの価値観が蔓延する社会に希望に満ちた日本の未来は望めません。

真心に満ちた人材が増えていく日本にしていく為の取組も必要ではないでしょ  
うか？

成長を希望する企業の繁栄を阻止しかねない人材がいるのであれば、企業側か  
らそういった人に去っていただけるようにできないものなのでしょうか？

企業が成長し、新たな投資を行える環境を整備するためにもマイナスしてから

のプラス、そんな行動も時には必要だと感じます。

人材の確保が難しい中、労働者側が権利ばかりを主張する時代に突入しています。

現場の声に耳を傾けていただき、未来を見据えた改革をどんどん取り組んでいただけると幸いです。